

8カ国からの行政・検査官の食品安全行政の研修開始！

自国の消費者の安全を守るため、食品の様々な危害要因に挑みます

中華人民共和国、インドネシア、レバノン、マレーシア、ミャンマー、ナイジェリア、ペルーおよびトンガから、**8名の食品の行政官・検査官**が、9月30日に来日し、食品安全行政コースが開始しました。

食品の安全性の確保は全世界共通の課題です。特に開発途上国

においては、飲食物を介した各種疾病の発生が深刻な状況であり、消費者の健康を守るため、食品の安全性向上が求められています。

さらに、食品輸出促進のための国際競争力を高める観点においても、安全性確保対策や食品検査体制の強化が不可欠となっています。

この研修では日本の生産・加工・流通・消費までの一貫した食品衛生政策、法律、行政組織と検査機関等の役割と連携体制について、体系的に学びます。**ぜひ取材・報道をご検討ください。**

- 研修名 : **食品安全行政**
- 研修期間 : 2018年9月30日～2018年10月27日
- 協力機関 : **公益財団法人 北九州国際技術協力協会KITA**
- 取材可能な日程 (は、以下問合せ先までご連絡ください)

日付	時間	内容	場所
10/22 (月)	14:00-16:30	学校給食の衛生確保 栄養教諭(栄養士)による調理作業のビデオ、児童への衛生教育で使用する資料等を用いた講義の後、調理場を外から見学し、学校給食の衛生確保や指導等について学びます。	竹末小学校: 福岡県北九州市八幡西区竹末 1-18-1
10/23 (火)	13:00-16:30	残留農薬検査 厚生労働大臣登録食品検査機関(公益財団法人北九州生活科学センター)にて農薬について講義・実習を行います。研修員は残留農薬検査実習を通じて検査機器の維持、検査方法を学びます。	(公財)北九州生活科学センター 福岡県北九州市戸畑区中原新町 1-4

本プレスリリースはウェブサイトでもご覧いただけます。 <https://www.jica.go.jp/kyushu/press/index.html>